

8.

## 研究公演「マリ国立民族舞踊団による音楽とおどり」公演と交流会

バオバブの木の下で みんなで踊って 2003. 8. 3.



8月3日午後1時30分から3時まで 450席びっしり満員の国立民族博物館ホールで開催。

タムタム(太鼓)とバラフォン(木琴)に合わせたリズムと踊りを通して、マリ共和国各地に伝わる伝統音楽と舞踊に酔いしれました。

その踊りの はげしさや躍動感には、豊穡の喜びを表現する祭り、民族の歴史、仮面をつけ神や魔物と交流する儀礼などがこめられ、リズムやステップのひとつひとつに喜びや苦を表現しているといわれています。圧倒的な太鼓と木琴の音とリズムにあわせ、躍動する踊りに、手拍子で答える参加者。舞台と客席とが一体となってアフリカを体験した焼く1時間のすばらしいステージでした。

公演の後、3時30分より「西アフリカ おはなし村」でバオバブの木を囲んで再度 マリ国立民族舞踊団の音楽とおどりが演じられ、みんな手拍子で答え、江口村長はじめ、次から次へと踊りの輪に飛び込み、最後にはみんなでバウバブの木を囲んで踊る盛り上がり。

踊りながら「おはなし村」を出て 民博の正面広場で総踊り。

公演同様にアフリカのリズムと音楽を体験。公演を見れなかった人たちも 公演でパフォーマンスしたくて体がムズムズしていた人達もみんな満足。

「西アフリカ おはなし村」の目指す「西アフリカ」体験のまたとない体験パフォーマンスとなりました。

## 研究公演「マリ 国立民族舞踊団による音楽とおどり」





## マリ国立民族舞踊団

1960年、マリ共和国独立前日に結成。

マリ各地に伝わる伝統音楽と舞踊を専門とする芸術団体。

「ダンスという分野の中でマリの超自然的な遺産を探求し、創造し、価値をもたせる」ことを目的とし、歴史と伝統を継承する作品だけではなく、現代社会の実状を反映したものにも取り組んでいます。バラエティ豊かなレパートリーで数々の海外公演をおこない、内外から高く評価されています。



バオバブの木の下で みんなで踊って

